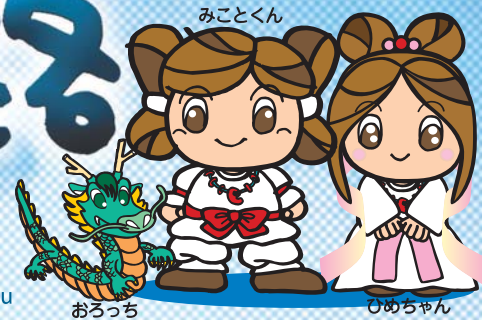


ふれあい 放水路

vol.188

Izumo Office of River Chugoku Regional Development Bureau



特集

旧神戸堰の撤去が完了しました



1000年の森づくり植樹祭(5月7日)

斐伊川放水路の残土処理場斜面に地域の森を再生するため、宮脇昭 横浜国立大学名誉教授の指導のもと、植樹を行いました。

Information



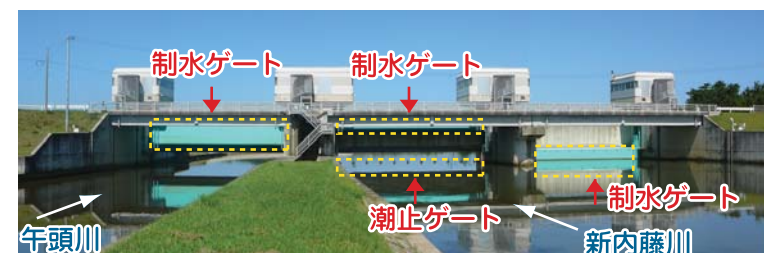
旧神戸橋は、車道部が昭和三十九年十月、歩道部が昭和五十三年八月に架けられました。車道部は「単純活荷重合成逆台形箱桁」形式の特殊な構造の橋梁でした。そのため、撤去工事は細心の注意を払い行われました。

旧神戸橋の撤去工事が完了しました



出水期を控えた五月二十七日(木)、神戸川堤防一斉点検を行いました。堤防・護岸・樋門などの異常を徒歩による目視点検で確認し、堤防の決壊等を未然に防ぐために毎年行っています。点検の結果、緊急的に修繕が必要となる箇所はありませんでした。

神戸川河川堤防一斉点検を行いました



中央の門はゲートが2段となっており、下段が潮止めゲートです。



撤去後



撤去前

平成十年に完成した新内藤川水門は、神戸川から新内藤川、午頭川へ洪水の逆流を防止するほか、潮止めの機能も併せ持っています。このたび、新内藤川の旧潮止堰の撤去工事が完了しました(県施工)。これにより、新内藤川水門の潮止堰が稼働し、水門の本格的な運用が開始されることとなりました。

新内藤川水門の本格運用開始



国土交通省中国地方整備局 出雲河川事務所

〒693-0023 出雲市塩冶有原町5-1 TEL(0853)21-1850 FAX(0853)22-7829

E-mail:izumo@cgr.mlit.go.jp ホームページ <http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/>

本誌に関するご意見やご要望などがございましたらお寄せください。 問い合わせ先: 放水路推進室 ふれあい放水路担当

旧神戸堰の撤去が完了しました

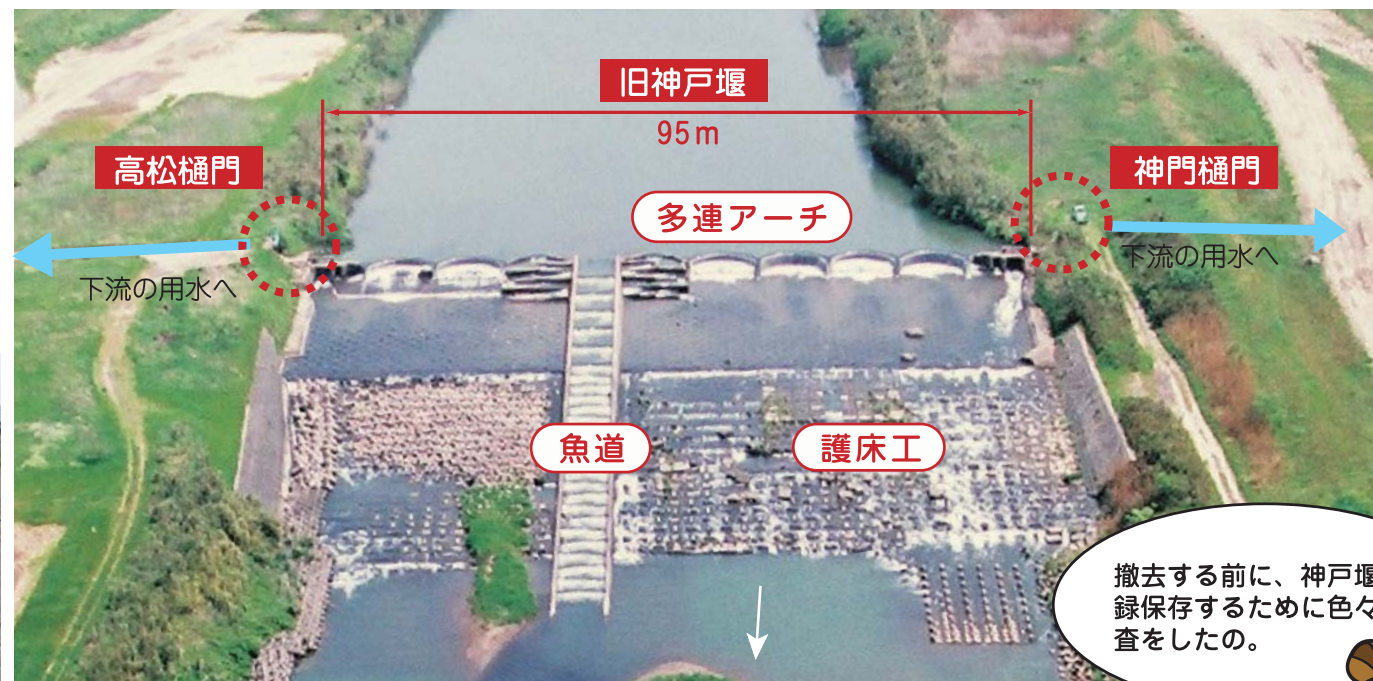
神戸川の改修に伴い改築が必要となった神戸堰の改築工事が終わり、新しい神戸堰へとその役割が引き継がれました。役割を終えた旧神戸堰の撤去工事が完了しました。

本号では、堰の撤去工事に先立ち実施した、調査の結果について紹介します。

旧神戸堰は、昭和2年6月、島根県初の鉄筋コンクリート構造の堰へと改築されました。

旧神戸堰上流に造られた神門樋門、高松樋門から取水された水は、水路をつたい、およそ600haの水田に運ばれました。

旧神戸堰は80年以上の間、地域の生活を支える重要な役割を担ってきました。



撤去する前に、神戸堰を記録保存するために色々な調査をしたの。

その1 80年経過したコンクリートの品質

①コンクリート配合

一般的にコンクリートは、セメント、骨材（砂、砂利、碎石等）、水、混和材料を練り混ぜてつくりまします。旧神戸堰の骨材には、神戸川で採取された砂利などが利用されていたようです。とても密実で良質なコンクリートでした。

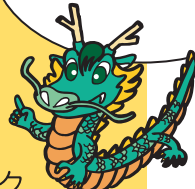
②コンクリート強度

神戸堰のコンクリートは、80年経過した時点でコンクリート構造物として現在のコンクリートに劣らない、健全な強度を持っていました。

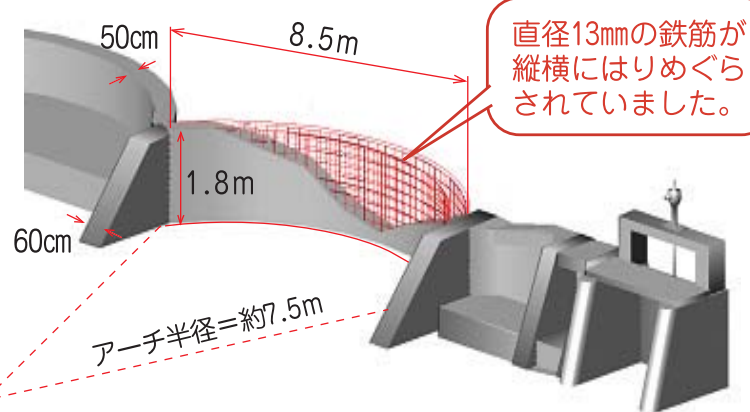
③中性化（中性化が鉄筋まで到達すると、鉄筋が錆びて膨張し、ひび割れなどの原因となります）

鉄筋コンクリートの中性化深さは劣化具合の目安になります。神戸堰のコンクリートの中性化は最大7.5mmで、劣化はあまり進んでいませんでした。

当時の技術力の高さと、丁寧に施工されたことがわかったよ



その2 美しい落水景觀多連アーチ部の構造



旧神戸堰をモニュメントとして保存しました！

旧神戸堰のアーチ一連部分（約10m）を、神戸橋下流高松地区の公園予定地へ移設し保存しているよ。



その3 堰の歴史

大正15年
旧神戸堰工事着手

建設当時から変わらないのはアーチ部形状のみ

昭和2年6月
旧神戸堰完成

昭和9年9月
大洪水に見舞われる
堰前面に「ゲタ」部分を造り落差工が小さくなるように補修

船通しはS20頃魚道に改修され、延伸が繰り返される

昭和20年頃
船通しの利用が無くなり、魚道として隔壁を設ける

昭和28年～38年
河床低下が著しく大規模な補強工事を行う（護床工、魚道を延伸）

昭和60年頃
魚道を延伸

落差を小さくするための「ゲタ」（S9年頃補修）

平成6年
斐伊川放水路が本格的に工事着手

平成13年3月
「日本の近代土木遺産～現存する重要な土木構造物2000選～」で最重要のAランクに分類される

平成16年10月
新神戸堰工事着手

平成21年3月
新神戸堰本体完成

平成22年1月
旧神戸堰調査実施

平成22年6月
旧神戸堰撤去完了

平成22年6月
新神戸堰運用開始

護床工（S38年施工）

撤去前の様子

撤去後の様子

連続するアーチ状の堰から落水する風景が新しい堰の下流に還元されました。

新しい堰は、洪水時にはゲートを倒して水を流すため、安全性が高まりました。

